



4月24日（月）の前期児童生徒総会の話

校長 久保村 裕

令和5年度前期児童生徒会が、「相互補完～仲間と高め合う学校～」をスローガンに掲げスタートしました。スローガンからは、皆さんのアイデアや他学年との交流を大切にしながら、仲間と互いに高め合っていこうという決意が伝わってきました。各専門委員会では、後期課程と前期課程の皆さんが、連携・協力をして、一つ一つの活動を着実に実行してほしいと思います。

新型コロナは完全になくなったわけではありませんが、これからは感染対策をしながら、アフターコロナに向けて、確実に児童生徒会活動を前進させていくことが大切になってきます。皆さんには、ぜひ積極的に取り組んでください。

児童生徒会活動とは、部活動や学習と同じく、皆さんの学校生活を楽しく、充実させるための大切な活動です。私はこの活動を通して、皆さんが人間的にも、精神的にもたくましく成長してくれればと願っています。そして、国吉義務教育学校の児童生徒としてのプライド（誇り）をもって、9年生には、学校の顔とリーダー、6年生には、前期課程の顔とリーダーという意識をしっかりとって頑張してほしいと思います。

前期児童生徒会の活動計画の中には、それぞれの専門委員会の常時活動や特別活動があり、その中に専門委員会どうしが連携して取り組む活動もあります。皆さんのアイデアを大切に活動「仲間とともに、部活動挨拶運動」「国吉をきれいに須加野活動」「絆を深めろ団対抗スポーツ大会」は、ボランティア活動やSDGsとも関連していることから、これからどのような活動になるか楽しみです。

また活動計画の中に挨拶運動がありますが、私は国吉義務教育学校のすばらしさ、校風の一つは、元気でさわやかな挨拶だと思います。元気のよい挨拶やさわやかな挨拶は、自分の意識を向上させるだけでなく、友達や仲間も元気にさせる魔法の力があります。

そのために、皆さんには、元気でさわやかな挨拶ができるように、登下校時や部活動の時はもちろんですが、廊下で会っても、「いつでも どこでも 誰にでも」の挨拶を心掛けてほしいと思います。挨拶が自然な形でできるようになります。

皆さんが、児童生徒会活動を一生懸命行うことによって、国吉義務教育学校がもっと元気で楽しい学校になれば最高です。自分のためだけでなく、友達や仲間のため、社会のためという意識をもって取り組めば、もっと楽しい児童生徒会活動になるはずですよ。これからの活動を期待しています。

